

電子マネーの入門書

『PRESENTING DIGITAL CASH』

インターネットでの通信販売などで将来大いに使われるであろう電子貨幣を解説した本である。技術的につっこんだ話はなく、電子貨幣って何なのかを知るための入門書と厚い。まず、公開キー暗号、電子署名、DES、クリップチップ、Netscapeのセキュリティなどの暗号化技術の解説から始まり、電子貨幣の概要、電子貨幣を扱うインターネット上の店舗や商店街について、さらにモンデック

ス、イーキャッシュ、サイバーキャッシュ、ファーストバーチャルといった有名な電子貨幣システムの概要と背景、およびそのほかのマイナーなシステムを説明し、社会的な影響や今後の予測についてまとめられている。最後に、いくつかの電子貨幣システムを使うための手順を記している。もちろん、どれも海外の会社が運営し、支払いには銀行やクレジット会社などの金融機関を間においているため、国内でクレジットカードを

作るほど簡単ではない。ここで紹介されている手順にしても、国内からの登録にも対応するかは明らかにされていない。そこで、国内から実際に利用した体験談は、本誌96年1月号や、次に紹介する『インターネット トンデモ活用マニュアル』と一緒に見ると参考になる。



Seth Godin 著
Sams net 発行
250頁
\$25.00 (US)
ISBN : 1-57521-062-2

デジタル経済の入り口

菊地宏明 Hiroaki Kikuchi

スケベ心を刺激するWWWガイド

『インターネット トンデモ活用マニュアル』

はっきり言って、やましい下心を抱いてインターネットを始めた人は多いはずだ。男性週刊誌ネタでインターネットが紹介されたうちの何割かは風俗ネタである。これが、インターネットブームに拍車をかける一因であるわけで、風俗ネタを集めたWWWページは軒並み繁盛している。さて、この手の情報はなかなかURLが紹介されておらず、雑誌の特集記事で紹介される程度なのだが、本書では、アダルト・風俗・ドラッグ・猟奇といった、めっ

たに紹介されないが、マニアの好奇心を満たしてくれるページを紹介している。なかには知っているページや閉鎖されているページもあるものの、十分に楽しめるガイドブックに仕上がっている。タイトルとURL、1枚の画面とコメント、これだけなのだが、読んでいるほうをかなり挑発する。この本を片手にネットサーフィンに励むユーザーが増えたことはまちがいないだろう。ホームページガイド以外の記事も面白い。WWWの通販店でアダルトCD-ROMを買って輸入する話もいかに、デジタルキャッシュであるファーストバーチャルを申し込んで、アダルトな有料ページを利用する体験レポートが秀逸。スケベ心はデジタル経済を加速させるものなんだなあと感じた。



裏インターネット研究会編
徳間書店発行
287頁
1200円
ISBN : 4-19-860374-X

34話の「仮想科学小説」

『デジタルな神様 1999年のゲーム・キッズ』



渡辺浩志著
アスキー発行
221頁
1500円
ISBN : 4-89366-439-5

『週刊ファミコン通信』に連載された仮想科学小説集で、テレビ朝日系の深夜番組「ブラックアウト」の原案になっている。一話4頁完結の小説で、ショートショートほどのボリュームはない。「デジタル・フォトグラフィー」とか「不死細胞」とかのキーワードをもとに話は展開し、全部で34話が収録されている。話はそれなりにまとまって

いるが、4頁のストーリーに盛り上がり期待するまでもなく、キーワードの雰囲気軽く伝わったところでストンと結末を迎える。しかし、それも数話も読めば、最後の1頁を開くまでもなく結末が予測できてしまうのだ。しかし、これに耐えて読み進んでいくと、著者との対決が待っている。いかに傑作なオチを考えつか、著者との知恵比べだ。自分ではけっこう勝てると思うが、全34戦で20勝できれば、読者の勝ちだろう。こんな読み方をすると意外に楽しい。仮想科学小説というジャンルが何かは明らかではないが、聞いてはいるけど、イメージがわからないキーワードを小話で説明するものと考えれば、楽しみながら読める。学習漫画には飽きたけど、技術書を読みたくない人はどうぞ。

交錯する3人の視点

『インターネットストラテジー』

著者3人の座談会を一冊の本にまとめている。この本はインターネットのしくみや概要を解説した入門書でも、ソフトの使い方を説明した解説書でもない。IJJの吉村氏、インターネットやVCOMで活躍する金子氏に、『遊』の元編集長の松岡氏を交え、インターネット論を展開している本なのだ。副題に「遊牧する経済圏」とあるのでビジネス書とまちがえそうだが、これはインターネットの哲学書ではなからうか。インターネットで育まれているボランティア性を、阪神大震災直後にボランティアシステム「インターVネット」を立ち上げた金子氏と、長年

インターネットの文化を体感している吉村氏が話しており、説得力がある。インターネットを支えるボランティアとは何なのか、このことが漠然としている人は読んでみるといい。さらにインターネットの何が社会、コミュニケーション、経済を変えていくのか、自由な発言とともに展開していく。型どおりのまとめはなく、いかにも座談会をそばで傍聴しているかのようで、ワクワクしながら読める。座談会形式に収録されているので専門用語が飛び交うが、脚注を参照する程度にして読み進めれば、この本のおもしろさがわかるだろう。



松岡正剛 / 金子郁容 / 吉村 伸共著
ダイヤモンド社発行
254頁
2800円
ISBN : 4-478-19028-3

ホームページ作りのコツ

『はじめてのHTML3.0』

いくつものホームページを作ってきた著者が、より多くの人に世界へ向けて発信してほしいという願いを込めて、HTMLの入門書を書き下ろした。本書はHTMLの文法の解説はもちろんのこと、どのようにHTMLファイルを作成するにも重点が置かれている。したがって、HTMLのサンプルを作りながら学んでいこうとする場合に適する。基本的にはNetscape Navigator1.1のHTMLが中心で、機能的な違いを解説するときには「Netscape Navigator 2.0では使える」などとコメントされている。ステップバイステップで解説しているため、全般的にわかりやすい。しかし、フォームの説明の章にあるPealのス

クリプトやサーバー側のCGIの解説と、クリックブルマップの章にあるHTTPサーバーの解説は、まったくの初心者ではついていけない。この2か所を読みこなすには、本書だけでは難しく、HTTPサーバー側から解説した本やPealの入門書が必要になる。最後の章では、作成したホームページをYahooなどの検索エンジンに登録する手順が書かれて締めくくられている。機能ごとに、凝った使い方やページをきれいにさせるコツも数多く取り上げられており、一通り読めば、HTMLを活かしたページを書くことができるだろう。



Sachi著
宇野謙吉監修
星雲社発行
270頁
2700円
ISBN : 4-7952-5071-5

実践的LAN構築技術

『インターネット時代のパソコンLAN強化100』

LANを学ぼうと思って書店に行ってみても、適切な本はなかなかないものだ。「OSI参照モデル」でお茶をにごしたり、特定のソフトのインストールに終始したり、本質的なところや知りたいところにたどり着く前に裏表紙がくる本がほとんどである。本書は実践的に使えるLAN構築技術を学ぶテキストである。ステップバイステップで絵解きの解説を行いながら100の問題を解いていく。LANの概要、接続形態、ケーブルシステム、敷設方法、プロトコル、配線規格と一通りの内容を盛り込んでいるから、LAN技術者を育てるテキストにはよい。ただし、後半は株NECクリエイティブ

の本のためか、NetWare、UNIX、Windowsの話へと移っていく。後半をほかのテキストに置き換えれば、どのLANを構築する場合にも基本的に使えるようである。さて、では誰でも読めるかというそうではない。用語などの説明が足りないため、理科系の知識が必要になる。工学部ならなおよい。機械オンチでは絵でもわからない内容かもしれないし、全くの初心者にはちょっとさけておきたい本であろう。NEC社内向けに作られたかのようなこの本は、研修資料としては最適だ。また、ある程度知っている人が復習するときにもいいだろう。



小林佳和著
NECクリエイティブ発行
227頁
2700円
ISBN : 4-87269-009-5



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp